

今年もみんなの力が結集して、思い出に残るキャンプになりました。



長く暑かった夏休み

園長 藤本光世

7月23日に始まり、8月27日に最後まで残った高校の子どもが登校して、すべての学校と幼稚園の二学期が始まり、昼間の園が空っぽになりました。

長い、長い、そして暑い夏休みでした。

夏休みの間、先生方には子どもたちのために頑張ってくださいました。この場を借りて報告し、感謝申し上げます。

今年は昨年一昨年の悪天候の反省から、臨海行事を7月27日と遅くし、キャンプを例年通りの8月4,5日に設定したことから、なんと臨海行事からキャンプまでの期間が1週間しかなくて、Y先生が再三にわたり、海の準備とキャンプの準備を一緒にやるんだ、と気合をかけてはいたものの、それは無理であり、たいへんなご苦勞を掛けてしまいました。

キャンプは1泊であり、幼児さんや調理職員を含めて愛育園全員が参加する一大行事なのです。愛育園にとって最大行事ともいえるキャンプの準備期間が1週間しかなかったことは、職員に、本当に大変な負担をかけてしまいました。それでも、両行事とも子どもたちが大満足でできたことは、普段の関わりや、これまでの積み重ねができていたからこそと、職員に衷心から敬意を表します。ありがとうございました。

今年のキャンプは、まごころ高校生と女性職員のダンスが圧巻でした。昨年もダンスがあったのですが、今年は練習によって、振り付けも衣装も向上して見ごたえがありました。聞いてみると、練習に3週間もかけたとか。きっと、子どもたちはやりたいと希望したことであり、楽しく練習ができたことでしょうね。

普段ダンスのようなことが苦手なUさんも、楽しんで頑張ったと聞きました。Uさんにとって最後のキャンプは、きっと心に残ったものになったでしょう。女子高校生4人はみんな在園期間が長く、心がつながっていると思います。仲間と創った最後のキャンプでしたね。

立派なパフォーマンスを見せてくれてありがとう。

2学期が始まりました。

2学期は運動会と愛育園祭の大きな行事があります。子どもたちが落ち着いて、学校生活や園

の生活に取り組んでくれることを願っています。



N君と柔道

子どもに自信と誇りを持たせたい。これは私の願いです。自信と誇りがあれば、困難に出逢ってもそれを乗り越えようと頑張れるのです。ところが、自信と誇りが無いとやる前にあきらめてしまう。自信と誇りは、自分で努力して、身につくのです。例えばA君のスノーボードです。今年の冬は、何度もスキー場に連れて行って、リフトに乗って滑らせてあげることができました。A君は転んでも転んでも、技を身に付けようと頑張って、ついにはくるくるができるようになったのです。それは彼にとって大きな自信になりました。

N君は、いろいろとやさしくしてくれます。なかなか大変。彼にとって、A君のスノーボードのような何かがないだろうかと考えました。彼は筋肉隆々、見るからに力が強そうです。でも、ボードや球技はそれほど得意ではないし、気に入らない様子です。それなら、柔道はどうだろうかとホーム長に相談してみました。

松代中学校を会場として社会体育で柔道教室があります。昔、ある子どもに習わせたことがありました。でも成功しませんでした。苦い経験でした。

通わせるには、職員が一人とられてしまいます。他の子のかかわりは、その分手が薄くなります。N君を特別扱いにすることも、問題が生じる可能性があります。そしてN君は続くだろうかという不安もありました。そんな問題がいくつもあることを承知で、担当からN君に聞いてもらいました。「やる」と即答です。柔道教室に関わっていた社長さんに話しました。「おっちゃん 柔道やるには受け身が大事なんだ。1か月くらい受け身の練習だけだぜ。大丈夫かい。」彼は、前に失敗した子のことを知っているのです。厳しく忠告してくれました。

練習が始まりました。初日に受け身の練習をしました。すると、N君はとっても上手で、参加

していた小学生から拍手をもらい、褒められたそうです。筋が良いねえだって。受け身だけの練習は短期間でした。彼は喜んで通うようになりました。

キャンプの往復の車中で、パートのT先生から、園長先生、俺、夜時間があるからN君の柔道教室の送迎をやってほしい、というとても有り難い言葉をいただきました。T先生は、柔道三段なのです。N君のことをいつも心配してくれていました。ホーム長もこの有り難いお申し出に、とっても喜び、お願いしました。

T先生は、松代中学校の練習も見てくれています。強い相手と練習しているそうです。N君も楽しいと喜んでます。11月に試合があります。私たちの心を受け止めて頑張してほしいです。

愛育園キャンプ

主任指導員 T.M

8月4.5日に愛育園キャンプを行いました。場所は3年前からお世話になっている長野市小田切にある青少年錬成センターです。

愛育園のキャンプの醍醐味は大きく2つあります。

1つ目は班ごとに分かれて、キャンプ前の準備期間で、自分たちで班の名前を考えて、シンボルとなる旗を作って、夕飯と翌日の朝飯のメニューを考えて、計画した凝ったメニューを当日班のメンバーで協力して作る事です。2つ目はキャンプファイヤーで大盛り上がりする事です。そして、この2つの事に対して私たち職員には達成したい目標があります。それは、子ども達がただただ腹の底から笑って叫んで、心の底から「楽しい」と思えるものにしたいという目標です。醍醐味は2つと書きましたが、とりわけ比重をかけているのはキャンプファイヤーの方です。

園の子たちは恥ずかしがり屋や、楽しみたい気持ちがあっても素直に表出できなかつたり、斜に構えて自信の無さを精一杯隠している子が多い。これが3年ほど前まで子ども達に感じていた様子でした。そこで何とかキャンプファイヤーの機会を使って、自分の心を解放して、それはとってもスッキリする事なんだという事を体感させたいと思い、盛り上がるキャンプファイヤーを練り上げてきました。

レクや歌やダンスを工夫して毎年着実にレベルアップして迎えた今年のキャンプファイヤーは今まで最高のキャンプファイヤーになりました。メインは高校生女子と女性職員で結成した7人組アイドルグループのダンスです。去年サプライズとして有志メンバーでジャンボリミッキーのダンスを急遽取り入れた所、とても楽しい記憶として残ったようで、高校生の女の子たちが今年もやりたいと期待感をいっぱい伝えてきてくれました。もちろんこちらもそのつもり満々で、ダンスの得意なM先生と、なんと6カ月前の2月頃には選曲を始め構想を練ってプロジェクトを始動させていました。どんな曲やダンスだったら子ども達が本気でのめり込んでくれるか、定期的に流行りの曲をチェックして、決定までに10曲くらい変更につぐ変更を繰り返し、満を持してCANDY TUNEの「倍倍 FIGHT」をコピーする事にしました。2週間前に高校生の女の子た

ちにこれを伝えると、最初反応はまちまちだったのですが、いざ練習を開始してみると、すごく良い姿が沢山見られました。まず、当初はサビの部分だけは完全にコピーして後は何となくの振り付けでやろうと思っていて、子ども達もそのつもりでいたのですが、なんだかんだワイワイやってるうちに「全部やれそう」となって行って、最後には個人の振り付けはもちろんの事、フォーメーションまで完璧にコピーしてしまったのです。

「心から楽しむ」という事に関して、強制的、義務的であってはそれは叶いません。ですので、このように高校生の女の子たちが自然と「もっとやりたい、こんなふうにやりたい」となっていた姿がとっても良かったです。他にも衣装も自分たちで決めたり、最初は高校生4人と職員1人の5人態勢で始めたのですが、高校生の1人が「あの先生も誘おう、この先生も誘おう」と女性職員に声をかけ、最後にはCANDY TUNEと同じ7人メンバーになって、本物さながらに担当カラーを身にまとい、立派なアイドルグループができてしまいました。

また、よほど楽しかったのでしょうか、キャンプまでの2週間、本当に1日も練習やミーティングを欠かせませんでした。時にはミーティングという名のおしゃべりだけの日もありましたが、とにかく楽しそうでした。私の方は結構大変で「一日くらい休みたい」と申し出た事もあったのですが、「やる気あるの？盛り上げたいんじゃないの？踊るわけでもない先生がそんなんでいいの？」と総攻撃をもらうハメとなってしまいました。そんな子ども達



達も達のやる気にメンバー入りして下さった先生方も時間を惜しまず練習に参加してくれとても良い雰囲気でしたが、私は少し心配に思う事があって、果たして恥ずかしがり屋のこの子たちは、本番もこんなに張り切ってやるだろうかという気持ちがありました。けれど、キャンプの2日前には、自分たちで自己紹介まで考えたり、当日には「リハをやりたい」と言い出し急遽リハーサルをやる事になったり、最早、何も心配はいりませんでした。そして、本番。登場から最高の笑顔とキレイのダンスで一気に会場のボルテージを上げてくれて(まわりの歓声やコールも凄かったです)、そのおかげで、その後のレクもみんな全開で大騒ぎして思いっきり発散する事ができました。もちろん最後にはしっかりアンコールを頂き、2回目は気持ちの高揚から更にクオリティーが上がったダンスを見せてくれました。本当に感動しました。みんな、もともとは人前でダンスを披露するような事は恥ずかしくてできないタイプの子達で、ましてやアイドルの真似をす

るなんてもっと苦手を感じていたはずですが(興味はあったかもしれませんが)。でも、それをやっちゃえるのが愛育園の雰囲気であり、愛育園のキャンプファイヤーなのだ、高校生たちの様子を見て、とても誇りに思いました。また、子ども達の恥ずかしさを取り除いてくれた要因には、堂々とダンスを踊って先陣を切ってくれた M 先生の存在も非常に大きかったのでとても感謝しています。4人の高校生それぞれが本当に素晴らしかったです。

最後に、もう一つの醍醐味である班での活動についてのエピソードをお伝えしたいと思います。

私の班は、班長を高2の T さんが勤めてくれました。班名や旗のデザインなどお願いしたのですが、正直そういった事を考えるのは苦手なタイプだったので荷が重いかぁと思っていました。ところが考えてきてくれた案がとても素晴らしかったです。班名は「HESONOO(へそのお)」です。班の旗は写真の通りです。「T さん、すごいじゃん」と言うと、「班名の由来は、メンバーの強い絆を表していて、旗は名前がへその緒



で繋がっているデザインにした」と説明してくれ、物凄くしっかり考えてくれた事や T さんの成長にとっても嬉しくなりました。

二日間、みんな良くお手伝いもしてくれて、とっても気持ちのいい大成功のキャンプにする事ができました。

次の大行事は9月の愛育園運動会になります。また、児童職員全員で協力して最高の行事にしたいと思います。赤組のみんな、頑張れー！！

愛育園キャンプ

まごころホーム長 I・S

「TANOSHII LAB.」をテーマに今年も愛育園キャンプが行われました。キャンプが大成功になるように、みんなでキャンプに必要なものを準備をしたり、テーマソングの練習をし気持ちを高めていきました。今年はどんなキャンプになるかな〜？とわくわくしながら準備を進めているんか今年も高校生の女の子たちや女性の先生方数人が何やらコソコソと練習し始め、T先生監修のもとなんとアイドルグループ「MASATUNE」が結成されていました!キャンプファイヤーを盛り上げるために2週間ほど毎日遅くまで練習をしていました。「先生は本番まで見ないで!!」と

子どもたちに言われていたので、すごく楽しみにしていました。キャンプファイヤーが始まりいよいよ「MASATUNE」の出番です。テーマソングのダンスを踊ってくれキャンプファイヤーはとて盛り上がりました。たった2週間でここまで仕上げていることにも驚きましたが、ダンスが苦手なUちゃんが一生懸命踊っている姿、Mちゃんは緊張しながらも笑顔で踊っている姿、Tちゃんの堂々と踊っている姿、ニコニ笑顔で踊ってくれていたRちゃん、そんなみんなのキラキラした表情を見て感動してしまいました。子どもたちも達成感を感じたようです。キャンプ行事を通してまた一つ成長できたように思います。



また今年のキャンプの班には高校3年生のY君がいました。班を発表される前に「先生今年は一緒の班になりましょうよ〜」と声をかけてくれていました。Yくんにとって今年最後のキャンプ行事になるので、Y君の思い出に残るキャンプにしたいな〜と考えていました。キャンプでは各班ごとにみんなでチーム名を決め班旗を作ります。私たちの班は「PAWPATLAB!」にしました。同じ班のK君が好きなアニメで、登場人物の犬たちが仲間と協力して問題をパウッと解決してくれるお話です。デザインはチーム名にちなんでこのアニメに登場するキャラクターを描くこと



にしました。「これならK君も喜んでくれるね」とY君と話をしながら、班旗の下書きをお願いしました。描くキャラクターがとても多かったのでかなり大変だったと思いますが、上手に仕上げてくださいました。下書きをもとにみんなで色付けをしとっても素敵な班旗を作ることができました!食事作りではいつも以上に周りに気を配り動いてくれたY君。そんなことまでできるようになったのか!と成長を感じました。食事作りや班対抗のレクでは班

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

のみんなと協力しとても楽しい時間を過ごすことができました。

その他にもキャンプ行事を通して子どもたちの喜んでる姿や、楽しんでる表情などキラキラとした素敵な表情をたくさん見ることができとっても楽しい2日間になりました。

さて9月はいよいよ運動会です。今年こそ「赤組優勝」を目指し頑張りたいと思います！

愛育園キャンプ

あおぞらホーム Y.S

夏休み中の8月4日、5日に愛育園キャンプ行事がありました。

キャンプ前の週は臨海行事もありほぼ同時進行での準備となりました、自分の中では昨年のキャンプでの反省点がものすごく多かったため昨年のキャンプ終了後に自分なりに反省点を振り返って書き出しておいたものがあり今年のキャンプの準備は細かいところもぬかりなく準備をしようという思いがありました。また、海行事から一週間ですぐにキャンプの日になりましたが準備は忙しかったけれど海行事の勢いそのままキャンプに挑めたのでそれはそれでよかったなと思いました。

そのかいあってか気持ち的にも余裕が少し生まれて、当日も荷物運びなどもみんな協力できたと思うし、夕食作りなども各班ごとバラバラになることもなくまとまっていたように思います。自分の班は夕食の量も残食もなく、美味しくいただきました。

その他、キャンプファイヤーも大いに盛り上がりました、特にまごころ中高生によるパフォーマンスは素晴らしく楽しませてもらいました。

二日目のグループ別活動では、ホーム長が不在とのこととても焦りましたが怪我やトラブルもなく活動できて良かったです。内容も事前につか案を練って試作などもして決めましたがそれぞれ時間的にもちょうど良かったと思っています。二日間通して全体の動きもスムーズでトラブルや事故もなく全体的に落ち着いた二日間だったと思います。

これからも色々な行事がまだまだ続きますが海行事、キャンプの勢いを持ってこの先の運動会や愛育園祭にもつなげていきたいと思っています。

キャンプ

まごころホーム M・H

夏の暑さ真っ盛りの中、今年も小田切錬成センターにて一泊二日のキャンプ行事が行われまし



(令和7年9月10日発行 月刊「円福」540号付録)

た。私は今年、初めてキャンプファイヤー係になり、高校生とキャンプファイヤーを盛り上げるため、ダンスに挑戦しました。今年のキャンプのテーマは“TANOSHI LAB.”ということで、テーマソングの「倍倍FIGHT!」を踊りました。高校生の四人は、ダンスが得意な子もいれば、苦手な子もいます。最初は出来るのか不安もあり、子どもたちの反応も気になってしまいましたが、みんな楽しみながら練習をし、学校やバイトで忙しい中でも毎日練習に励んでいました。今日は休んでもいいんじゃない？と言っても「じゃあ少しだけ集まってやろう」と言っていて、その意欲に驚かされました。ダンスが好きで、振り付けをすぐに覚えてしまったTさんは、ほかの子に「ここ分からないから教えて」と言われるととても丁寧に分かりやすく教えてくれていました。恥ずかしがり屋でダンスを覚えるのが苦手なUさんとRさんは、練習を始めた頃は、「難しくてできないよ」と言っていたのですが、みんなに教えてもらいながら、少しずつ覚えていき、「ここは昨日やったからできるようになった!」と、どんどん自信がついていく姿がありました。Mさんは、「みんなで衣装を揃えよう」と言ってたくさんアイデアを出してくれ、みんなの一体感ややる気につながっていきました。子どもたちがそれぞれいい雰囲気の中でいきいきとしていて、今年のキャンプを盛り上げるためにアイデアを出して自主的に動いている姿が印象的でした。

本番でも、緊張や不安もあったとは思いますが、それ以上に本当に楽しそうに、堂々と踊っていました。たくさん自分の時間を使って練習したことが積み重なった結果が、今回の行事での子どもたちの姿に繋がったのではないかと思います。私は今回参加できたことも良い経験でしたが、普段の生活では見られない子どもたちの姿を間近でみることで嬉しかったです。子どもたちのパワーに負けないように私も頑張らなきゃなと思いました。

次の大きな行事の運動会も、成功するようみんなで力を合わせて創り上げていきたいと思っています。

キャンプを終えて

愛育園で働かせていただいて2度目のキャンプがやってきました。



調理員 I・H

特に今年は自分にとって大切に貴重な経験をさせていただきました。

キャンプのちょうど2週間前の朝食後、片づけをしていたら、まごころ高校生4人に囲まれ「先生に1つお願いがあるの」とUさんがニヤニヤして言ってきて、キャンプファイヤーで踊るダンス、7人グループであと一人足りないから一緒に踊ってほしい！と。

その時は誘ってもらえたことが素直に嬉しくて、分かったよー！と返事しました。

ですが、後々自分なんてダンス不得意だし、代わりはいると思うし、2週間しかないし、、と不安で一杯になり、お断りすることにしました。それでもUさんは、何度も先生やろうよ！と声をかけてくれて、このままやらずにキャンプを迎えたら自分は後悔する、自分に今出来ることは

これなのかなと思い、一緒に踊ることに決めました。2週間しかない中で、最初はダンスのみ覚えるのかと思いきや、フォーメーションも覚えて踊ると知ってとても焦りました。その中、ダンスが得意なTさんが丁寧に分からない所を何度も教えてくれて、フォーメーションの場所もなんとかついていくことが出来るようになりました。本番も職員なのに人一倍緊張してしまいましたが、無事踊りきって盛り上げることができ、改めて参加できて本当に良かったと心から思いました。



いざ終わってしまうと、あのみんなで夜頑張った練習風景を思い出すと寂しくなる自分がいました。そのくらい、この夏、子供達と一つになって一緒に頑張れたことなんだと思いました。これからも子供達とコミュニケーションを大事にして頑張っていきたいと思います。

キャンプ まごころ児童感想

楽しかったキャンプ

高2 Tさん

今日は、錬成センターに行ってキャンプをしました。着いた後は、荷物をもってキャンプ場まで行きました。その後、開村式をしました。あまりにも暑かったのでスペシャルゲストでエルサが来て、冷やしてくれました。次に班の紹介と班旗の説明をしました。私は今年5班で、班長を任せられました。また、班旗のデザインを考えて欲しいと言われとっても困りました。最初は今年

のテーマの「たのLAB」に沿って何とかLABにしようと思いましたが、3日間くらい考えて最後に思いついたのは、「HESON00」です。この由来はメンバーの絆がへその緒で繋がっているのを意味します。デザインもそれに沿ったものを書きました。5班の先生に見せたらとってもいいと言われ、すぐにそれに決まりました。すごく嬉しかったです。開村式が終わった後は、お昼に調理の先生が作ってくれたペペロンチーノを食べました。とても美味しくておかわりもしました。

次に班ごとに分かれて、ゲームをしました。私が一番楽しかったのはヘディングキャッチリレーです。ボールをおでこに当てて班の代表の人がキャッチするゲームです。最初はうまくできるか不安だったけれど、一発でできたので嬉しかったです。夕飯は、5班で話し合いをした結果、串焼きを主に作りました。お肉や野菜、お赤飯で五平餅も作りました。たくさん食べられるか不安だったけれど、みんなで協力して作ることができて良かったし美味しかったです。



夜はキャンプファイヤーを行いました。そこでは、3週間くらい高校生と大人3人で練習したダンスを披露しました。曲は倍倍 FIGHT です。少し難しい所もあったけれどみんなで教え合って、フルで考えました。衣装も自分の担当の色にしたり、バレッタのリボンやカーゴパンツもお揃いにしました。買ってくれた先生に感謝をしっかりとりたいです。いよいよ本番になりました。私は本番に弱くてとっても緊張したけれど、みんなが声を出して歌ってくれたので笑顔で間違えず踊ることができたので良かったです。とても最高だったし、アイドルになった気分でした。来年もこのようなことをしたいです。

2日目の朝は、サンドイッチとホットサンドを主に作りました。疲れていてやる気があまり出なかったけれど班のみんなで協力して美味しいご飯を作ることができたので良かったです。



グループ別行動では、タイルでかわいいペン立てを作りました。ねんどをタイルの間に入れて行ってきれいにしていくのが難しかったけれどとても楽しかったです。

2日間とても楽しい日になって良かったです。

キャンプ

中2 Hさん

今年のキャンプのテーマは、「楽しいラボ」でした。そこで楽しむだけでなく自分から進んで動くことや、先生の話をしっかり聞くことを大切にしながらやることができました。1日目の全体レクでは、班対抗でいろいろなゲームをしました。「私は誰でしょう」では、出題する側と答える側に分かれてやりました。私たちの班は、答えるときに2つとも正解でした。また、出題する時もやった2人がとても上手くて相手チームが分からなくて間違えていました。「色そろえゲーム」では、班の中で相談したりしながら協力して相手チームより3秒早く完成させられたので良かったです。

「ヘディングキャッチリレー」では、頭でボールをトスしてバケツに入れるゲームでした。最初

は少し無理かな、絶対入らないなどと思っていたけれど、2回で入れられて次の人に繋ぐことが出来たので良かったです。「一人一文字ゲーム」では最初の方は良かったけれど途中から難しくなっていくにつれ分からない所があり、間違えてしまいました。でも、とても盛り上がって楽しかったです。レクの後は、班ごとに分かれて夕食作りをしました。3班は、キムチチャーハンとチーズカレーラーメンとサラダと春巻きの皮でチーズとハムを包んだものとフルーチェを作りました。みんなで協力して時間内においしく作る事が出来ました。片付けの後は下に降りて、キャンプファイヤーを楽しみました。その中でまごころの高校生たちが前で踊ってくれてとても盛り上がりました。また、みんなで歌って踊ってゲームをしてとても楽しかったです。2日目の朝ごはんは、イングリッシュマフィンとメロンパンとスープとフルーツポンチを作りました。朝ごはんはほとんど焼くものばかりだったのでゆっくり作りました。その後のグループ別の活動はペン立てを作りました。これもおやつを食べながらのんびりときれいにできたので良かったです。

少し大変なところもあったけれどみんなで盛り上がりながら楽しいキャンプにできたので良かったです。



あおぞら児童感想

(高校1年生 F・Kくん)

今年も暑い日が来ると、キャンプも「いよいよだなー」と思うことがあります。僕の中では思い入れのある特別な行事なので、いつもキャンプ前日の夜は楽しみで中々眠れません。今年のキャンプのテーマでもあった「倍倍 FIGHT」になら、自分自身も去年のキャンプより倍に頑張ろうと思い、3つのことを頑張りました。一つ目は荷物の荷下ろしや片付けをするために階段を何度も往復したり、キャンプの最初から最後まで積極的に動くことができ、頑張ることが出来ました。終わった時には達成感がありました。去年より「倍」頑張れたと思います。2つ目はキャンプファイヤーです。僕はキャンプファイヤー係だったので人一倍盛り上げ役を頑張ることができたと思います。たくさん踊り、たくさん声を出したのでとても疲れしました。去年よりも「倍」盛り上がったと思います。最後に3つ目は、頑張ったということよりも「倍」楽しむことが出来たことになるのですが、1日目のレクやご飯作り、花火大会、2日目のグループ別行動など楽しいことは沢山ありましたが、夜の就寝前にみんなで話したこと、2日目の宿舎掃除では楽しみながらキレイに掃除をすることが出来たことなども楽しい思い出になりました。来年は今年よりも「倍」に頑張って楽しいキャンプにしていきたいです。

(中学3年生 K・Rくん)

8月4、5日に愛育園キャンプがありました。錬成センターについてはそれぞれ班紹介を行い、僕たちの班名は「SUPEREXPRESS」でした。そのあとはみんなでレクをしました。とても楽しかったです。自分が一番

楽しみにしていた夕食準備の時間になり、自分の班ではチキンラーメンカレー、キムチチャーハンを作りました。どれもとても美味しかったです。夕食の後はとても楽しみにしていたキャンプファイヤーがありました。今年自分も盛り上げるスタッフとして、キャンプ前から練習したり、当日も精一杯頑張ることが出来ました。緊張もあつたけど、みんながとても盛り上がってくれて係も楽しくやる事が出来ました。キャンプ1日目とても楽しく思い出になりました。キャンプ2日目はグループ別行動があり、自分は木工工作で難しかったですが面白かったです。今年のキャンプも楽しかったです。



自分が一番楽しみにしていた夕食準備の時間になり、自分の班ではチキンラーメンカレー、キムチチャーハンを作りました。どれもとても美味しかったです。夕食の後はとても楽しみにしていたキャンプファイヤーがありました。今年自分も盛り上げるスタッフとして、キャンプ前から練習したり、当日も精一杯頑張ることが出来ました。緊張もあつたけど、みんながとても盛り上がってくれて係も楽しくやる事が出来ました。キャンプ1日目とても楽しく思い出になりました。キャンプ2日目はグループ別行動があり、自分は木工工作で難しかったですが面白かったです。今年のキャンプも楽しかったです。

地蔵盆

あおぞらホーム F・K

8月23日に今年も地蔵盆を行いました。地蔵盆とは町内のお地蔵様をおまつりし、子どもたちのすこやかな成長を願う催しで、毎年愛育園が主催で西横田の方々を招いて地蔵盆を行っています。

地蔵盆では、愛育園の子どもたちと西横田の方々と一緒にお参りを行いますが、園外の方々の前でも子どもたちが大きな声でお参りを行う姿を見ると、やっぱり愛育園の子どもたちはしっかりしているなど改めて思いました。

また、お参りの際に小6のM・Y君とA・Y君が代表で鐘と木魚を叩いてもらいましたが、二人とも堂々と立派に叩いており、普段のお参りからしっかりやっているからこそ、こういう時にも自信をもってできるのかなと思ひ、感心させられました。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

9月に入りましたが、まだまだ厳しい暑が続いています。子どもたちは汗をかきながらも元気いっぱい遊び、日々の生活を楽しんでいます。例年より少し長かった夏休みは、キャンプや映画鑑賞、お寺でのお泊まり、プールや釣りなど、さまざまな体験を通してとても充実した時間となりました。子どもたちにとって夏の思い出がたくさんできたことと思います。二学期は修学旅行や文化祭など、大きな行事を楽しみにしている子どもも多く、笑顔あふれる学期になることを願っています。また園でも運動会が予定されており、子どもも職員も力を合わせ、思い出に残る行事にできればと思っています。

まごころホームだより

まごころホーム N・R

長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。まだまだ暑い日が続いていますが、子どもたちは元気に学校へ行っています。

夏休み中は、園の行事として臨海学習とキャンプがありました。初めての参加の子もいましたが、全員とても楽しんでいました。中でも、キャンプファイヤーでのまごころ高校生と選抜職員で踊ったダンスが印象的です。毎晩、全員で集まって長時間練習している姿を見ていました。本番ではとても堂々と踊っており、大盛り上がりとなりました。

他にも、まごころホームではお盆行事として、映画を観たり、ボウリングに行ったりととても楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちにとってたくさんの夏の思い出ができたことと思います。

9月には、愛育園運動会があります。この行事も子どもが楽しみにしている行事なので、子

もと職員で力を合わせ、思い出に残る運動会になればと思います。

調理室だより

調理員 O・H

毎日暑い日が続きましたが、元気に過ごし最高に楽しかった思い出いっぱいの夏休みになったようです。

甘いすいか、桃、ワッサー、アイスクリーム、かき氷など夏ならではのおやつや、畑から毎日届く夏野菜も美味しく頂きました。お盆メニュー、お楽しみメニューもありました。

13日 迎え盆

・そうめん 天ぷら(海老 南瓜 ピーマン 茄子 オクラ)

14日 お楽しみメニュー

・しゃぶしゃぶ(豚肉 ウィンナー 白菜 長ねぎ 水菜 モッツアレラチーズ えのき
春雨 スライス餅 ラーメン) ジュース

16日 送り盆

・かき揚げ天丼 花ふのすまし汁

23日 Y君誕生日メニュー

・醤油ラーメン(チャーシュー なんと メンマ ゆで卵 ねぎ) 手作り餃子
フルーツインゼリー

24日 N先生と会食

・ハンバーグドリア 野菜スープ イタリアンサラダ お土産のハーゲンダッツ

30日 Y君誕生日メニュー

・ステーキ丼(ガーリックライス 目玉焼き 皮付きポテト キムチ) シーザーサラダ
アイスクリーム

